

文法 **は** **が** **の** 問題 **?**

—正文解釈をコアメソッドとした「文法」再構築の試み—

国際交流基金関西国際センター

矢沢理子

知識

grammar

Audio-lingual

Communicative competence

Proficiency
Action-oriented

- 文法

(文型)

機能

体系性は？

文法は？

- 話題/テーマ

興味

- 場面

ニーズ

- タスク

行動

口頭コミュニケーション重視、行動志向時代の 「文法」問題

- システムが形成されない
- 知識が積みあがらない
- 場面对応ができてても、応用が利かない
- 文法を扱う時間がない

*Focus on
Form*

*Focus on
FormS*

実践の背景：文化・学術系の専門日本語コース

- 期間：2か月/6か月コース（15名-40名、3-5クラス編成）
- 対象：海外機関に所属する大学院生、研究者、司書、学芸員
- 日本語参加条件：既習者（初級修了程度以上）

実際の日本語レベル： A1-C1 SLとRWの不均衡

日本語学習歴： 非系統的、非正規的

- 文法は知識のみ、練習なし。
- チャンクのみ、文法なし。

文法の「穴」、「化石化した誤り」が目立つ

- 研修参加目的：日本での専門活動 **formality** **正確さ** **論理性**
- 活動ニーズ：**資料収集**、**文献読解**、フィールドワーク、**書き言葉** 専門家との面談、**ネットワーク形成**、**発表**、**論文執筆**

コースデザイン上の課題

- 多様性対応（日本語、専門分野、専門性の錬度など）
- 初級からの専門日本語

リメディアル
やり直し
復習
整理

提供科目

一般日本語

総合日本語
(**文法**を中心に4技能)

漢字・語彙

会話・インタビュー

ディスカッション

メディア日本語

文法

専門日本語

情報検索スキル

口頭発表

コンピュータ
(メール、専門語彙)

論文の書き方

「文法」(2016秋)の内容

1. 文末・文体

2. 助詞 3

3. 動詞の活用

4. 受身・使役・使役受身 2

5. 自動詞・他動詞

6. 敬語 1

7. 文の接続

8. モダリティ

「文法」クラス

share activityによる
持てる知識の活性化・拡大

- 対象：既習者、ミックスレベル、多様な学習背景
- 形態：週2コマ (①形確認→②生テキスト) weekly option
- 内容：リクエストベースで編成 (定番項目あり)
- スタイル：work-shop型 参加型
- 手法：視覚・聴覚の援用、体を動かすactivity
- 素材：PPT、生テキスト (俳句、詩、歌詞、CM、漫画など)
- アプローチ：帰納的、分析的、メタ的

ニーズに応じて
選択可能

ニーズに応じて
調整

ディスカッション
カードゲーム

- 正文の構造観察→構造分析、語用論的分析
- 問うのは正誤ではなく、「Xとは何か」、「なぜ日本語にはそういう構造があるのか」 (L1との対照分析)

「文法」 クラスの内容

1. 文末・文体 **です文・ます文**→品詞の別 名詞文・形容詞文・動詞文
敬体と常体(ダ体・テアル体) 文体変換 **新聞、詩、漫画**
2. 助詞 **知っている助詞・難しい助詞** 助詞の分類・階層 疑問詞「いつ・どこで・誰が・何をした」 (単語カード) 助詞クイズ **俳句、歌詞、詩**
3. 動詞の活用 **活用型3分類 (動詞カード)** 活用一覧 (態の動詞) 活用形の用法リスト **歌詞、標語**
4. 態 **可能・受身・授受・使役・使役受身** L1の態 **CM、歌詞、詩、漫画、Tシャツロゴ、新聞**
自他概念 (絵カード) **自他動詞ペア (動詞カード)**
5. 自動詞・他動詞 **自他の世界(自動性・他動性と態)** **記事、和歌**
6. 待遇表現 **知っている敬語** L1の敬語 **敬語とは?** 尊敬・謙譲・丁寧
漫画 **待遇表現とは?** **この発言はなぜ失礼?**
7. 文の接続 **接続詞分類** テ形の用法、節の作り方 (～と思う、～んです
～か、～かどうか、連体修飾節) **修飾節単語カード並べ**
8. モダリティ **様態・伝聞 (よう/そう/らしい)** **科白入れ** **CM**

素材·手法例

こめあらう まえ

ほたる ふたみ

米洗ふ前



螢がこつこつ

な
の
花
や
月
は
東



日
は
西



産経新聞

朝の詩

あべこべ話

大阪府枚方市
田中 伸子
65

少女は花に
みつめられ

おばあさんは
子猫に拾われて

お母さんは
赤ちゃんに育てられ

先生は生徒に
教えられ

あべこべ話は
ほんとうの話

(選者 新川和江)

アイデアが土地を活かす

高松建設

TakaMatsu
詳しくは

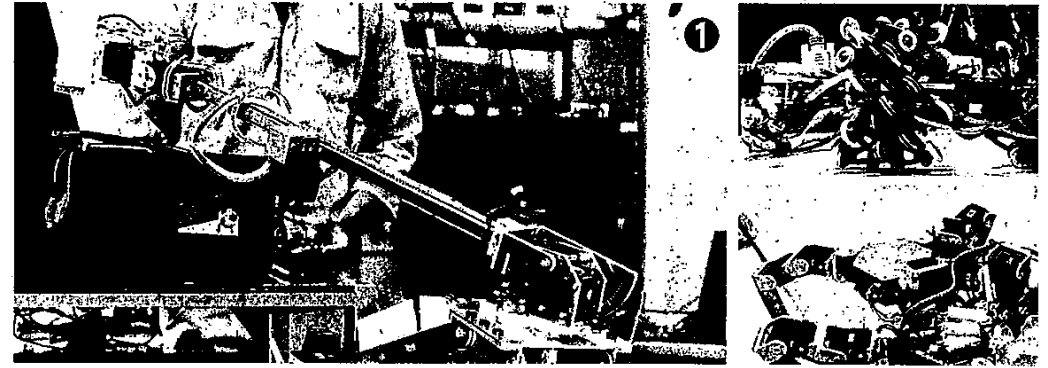
0120-53-8101

被災者を必ず見つけ出す 京大、救助ロボット

障や救助にきたるロボットを報道陣に公開。遠隔操作で障害物を乗り越えて進んだり、自動操縦で被災者を発見したりする様子を実演した。

公開されたのは、熱を感知して被災者を見つけるセンサーを装着した遠隔操作型ロボット「KOHGA3」（長さ86センチ、幅45センチ、高さ75センチ）と、レーザーなどを備え、自動的に周囲の地図を作製する能力をもつ自動操縦型ロボット「KAMUI」（長さ46センチ、幅38・5センチ、高さ53・2センチ）など。2機は5月に新潟で開催された救助ロボットのコンテストで優勝している。

KOHGA3は、東日本大震災から約1週間後の青森県八戸市で建物内部の被害を調べた実績もあり、松野教授は「人間が入れない災害現場や原発内部ではロボットが役立つ。実用化へ向けた研究を進めたい」と話した。



STAP特許取り下げ場

報告書案 理研改革委「根拠失

新型万能細胞とされる「STAP細胞」の論文不正問題で、外部有識者でつくる理化学研究所の改革委員会が、細胞作製に関する国際特許の出願取り下げを求めることが10日、分かった。週内にもまとめる報告書に盛り込む。STAP細胞は研究成果だけでなく、

知的財産も白紙化する見通しとなった。取り下げを求めるのは、体細胞を酸などで刺激するSTAP細胞の作製法に関する基本的な特許。理研と米ハーバード大、東京女子医大が昨年4月、特許協力条約（PCT）に基づき米国で共同出願した。

特許権を失う可能性がある。理研側は、特許権を失うと、

受身うけみ
Passive

朝の詩^{うた}

あべこべ話

大阪府枚方市

田中 伸子 65

少女は花に
みつめられ

おばあさんは
子猫に拾われて

お母さんは
赤ちゃんに育てられ

先生は生徒に
教えられ

あべこべ話は
ほんとうの話

(選者 新川和江)

受身^{うけみ}
Passive

可能(かのう) Potential-
-eる・られる

二十四時間

戦えますか

さけ の
酒に飲まれる

<https://www.youtube.com/watch?v=v0t--pFDTBE>

受身うけみ
Passive

の
飲ませて ください

<https://www.youtube.com/watch?v=DflbKDTDtc4>

使役しえき
Causative

酒が飲めるぞ

<https://www.youtube.com/watch?v=t1Q-36L1b2Y>

可能かのう
Potential



Causative-Passive

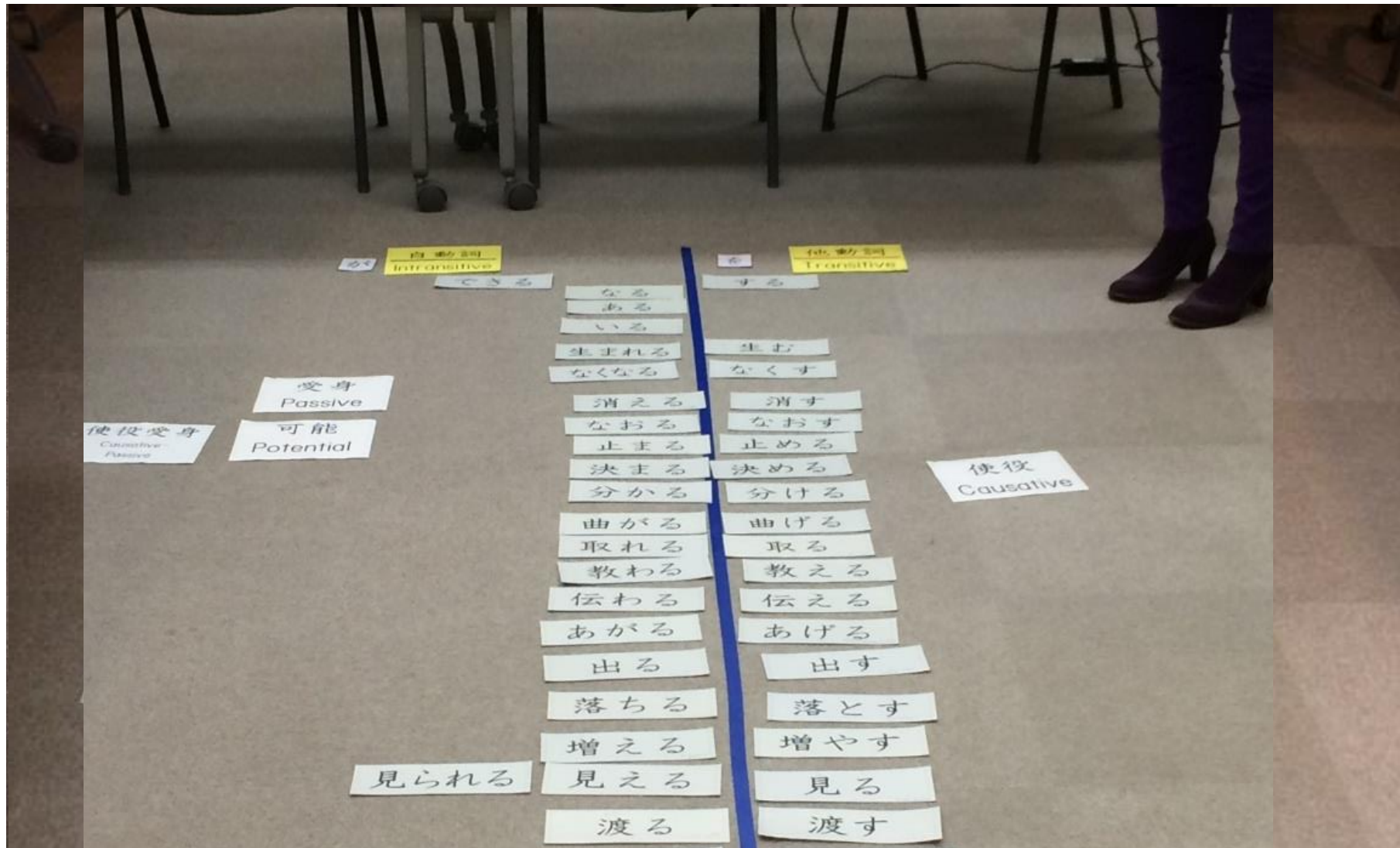


<http://www.oreryu-souhonke.jp/product/4785>

動詞 活用の種類 3分類



自動詞・他動詞 十 態(可能・受動・使役・使役受身)



自動詞

他動詞

あるなる

する

出る

出す

閉まる

閉める

分かる

分ける

落ちる

落とす

帰る

帰す

消える

消す

止まる

止める

伸びる

伸ばす

しる

しらす

自動詞

他動詞

切れる

切る

折れる

折る

解ける

解く

割れる

割る

焼ける

焼く

育つ

育てる

立つ

立てる

開く

開ける

続く

続ける

Nが自

Nを他

受身

ある・なる

する

可能

生まれる

生む

使役

売れる

売る

見られる

見える

見る

見せる 見させる

聞ける

聞こえる

聞く

思わされる

思われる

思う

思わせる

立てられる

立つ

立てる

立たす

減る

減らす

来られる

来る

来させる

子どもが

おとなに

けっか
結果
result

へんか
変化
change

かてい
過程
process

じょうたい
状態
state

Nがなる

ある

本が

雨がふる

そんざい
存在
existence

花がさく

自 self, by it self
naturally
spontaneously

たいしょう
対象
object

こうか えいきょう
効果・影響
effect

パンをたべる

人がNをする

えいきょう
影響する
affecting

本をよむ

どうさ
動作
action

他 other

人が行く 来る

人が P を 出る

人が 人に 会う

いる

N が なる

ある

雨が ふる

花が さく



が 可能Potential

見られる 山が 見える

受身Passive うまれる

使役Causative

人を P から 出す

パンを たべる

人が N を する

本を よむ

人を まつ

山を 見る

子どもを うむ

自然にそうなった

人が何かをした

じ

た

自

他

自然
自発

人為
作為

ある
なる

する

「文法」 クラスの方法論（模索中）

- **既習者、グループ、多様性を強みとして生かす**
 - 問題点の絞込みと意識化 ・ 知識活性化とシェアによる拡大
 - 知識を個人に問わず、グループワークで答えを探す
 - 多彩なL1との対照：L1にその「文法」はある？
- **正答を問わない**
 - ナマ物（正文）の利用 ・ 正答のないことを問う（文学）
- **「覚える」ではなく「印象付ける」→「腑に落ちる」**
 - 文字テキスト以外の要素の利用(視覚・聴覚・レアーリア)
 - 由来語り(です/ます) ・ コアイメージに焦点化 (ガ、テ形、態)
- **メタ的・認知言語学的アプローチ**
 - 「基本」ではなく、「一番大事なもの」から (文末・動詞)
 - 「Xとは何か」から ・ ペア正文の意味の違い (なるvsする)

世界の捉え方の反映としての **言語**

自動詞・他動詞関連の参考文献

- 丸山真男(1959) 「である」と「する」こと
- 池上嘉彦(1981) 「する」と「なる」の言語学
- 森田良行(1987) 「自動詞と他動詞」
- 金谷武洋(2002) 「日本語に主語はいらない」
- 國分功一郎(2017)「中動態の世界」

わかりやすかった。自他がよかった。アクティビティ中心なのも。(韓/米B2/C1)

とても役に立つ。自他分けルールは新しい。(欧B2)

先生の教え方が好き。内容はやさしかったが、自分も教えるので参考になる。2時間があったという間。歌などを使うのもいい。(亜B1/B2)

簡単すぎた。俳句がおもしろかった。(欧B2/C1)

簡単すぎた。(中/米B2)

わかりやすい。でも覚える練習が欲しかった。(韓A2)

とてもよかった。今まで習ったもの(ばらばらのピース)を整理してくれるから。(中/米A2)

システマティック。とても役に立った。わかりやすくなった。授業後に母語で書かれた文法解説も読んだ。(韓A2)

内容は知っている内容だったけど、国で受けた説明と全然違うので面白かった。(台A2)

自動詞と他動詞、なぜあるのか、どう違うのか、初めて納得が行った。「日本人は「なる」が好き」というのは面白い。(韓A2)

使う練習がしたかった。受けているときはああなるほど、と思うが、使うときには自信がなくなる。(韓A2)

クラスでもらったまとめ資料は便利。雰囲気はいつもよくて楽しかった。(欧B1/B2)

文法クラスを本当に楽しんだ。内容に印象付けられるとき、文法はもっと簡単に理解できるし、その後も覚えていられる。書いて発表すべきだ。(欧B1)

「先生は私の日本語のお母さんです。」(韓A2/B1)